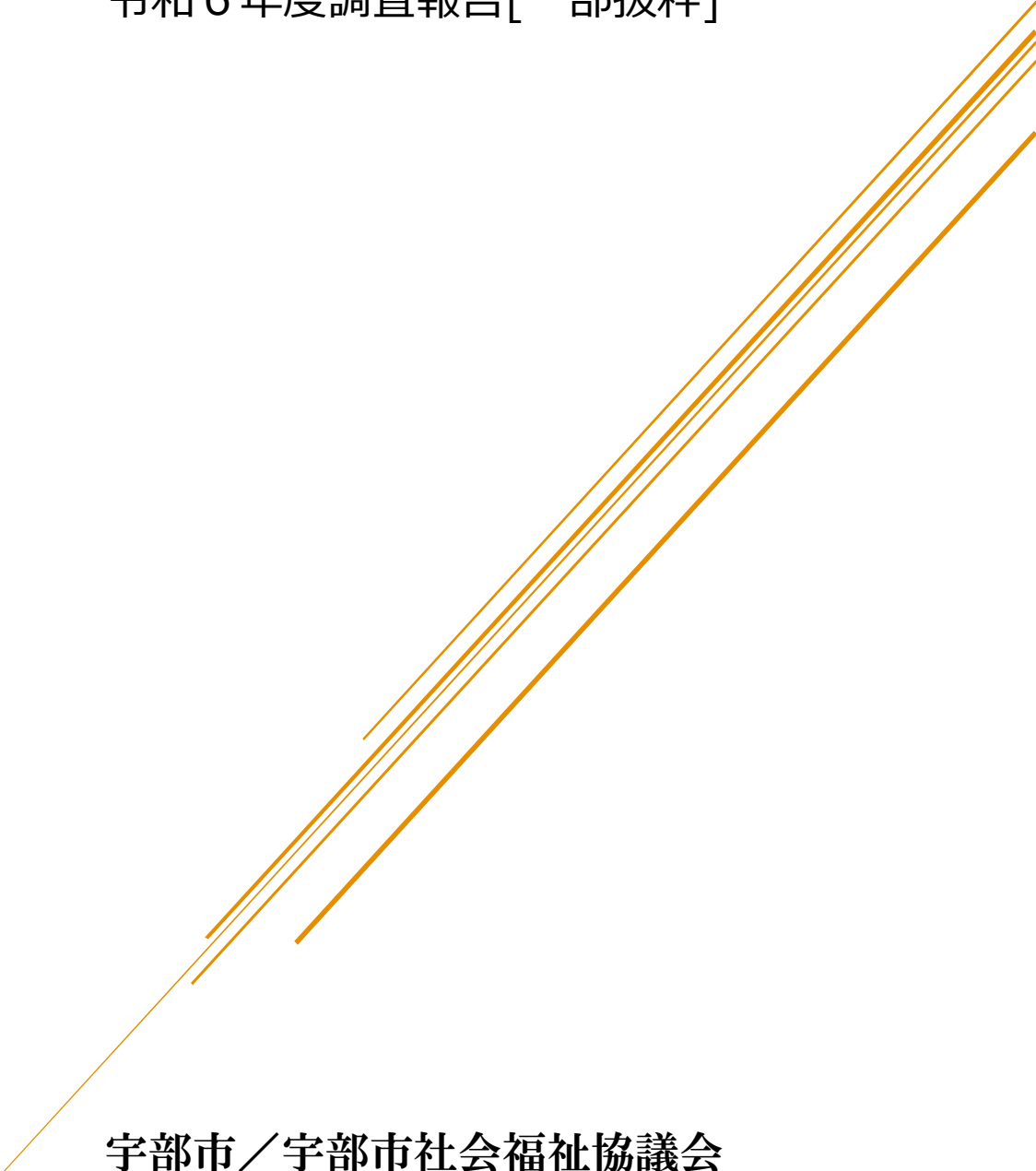


宇部市地域福祉意識調査

令和 6 年度調査報告[一部抜粋]

A series of five parallel orange diagonal lines extending from the bottom left towards the top right, positioned behind the footer text.

宇部市／宇部市社会福祉協議会

2025（令和 7）年 3 月

目次

調査の概要	1
調査結果	2
1. 調査対象者	2
2. 地域とのかかわり	3
3. 日常生活の悩み・課題	7
4. 地域福祉の考え方について	8
5. 地域福祉の推進について	11
6. 宇部市社会福祉協議会について	14
7. 自由記述	15

調査の概要

◎調査の経緯、目的

地域福祉に関する市民ニーズを把握し、第 3 次地域ふくしプラン策定のための基礎資料として活用することを目的として実施した。

◎調査期間

令和 6 年 12 月 1 日～12 月 27 日

◎調査の対象

18 歳以上の市民 1,500 人

◎調査方法

郵送配布・郵送回収方式

◎回答数

479 件（回収率 31.9%）

調査結果

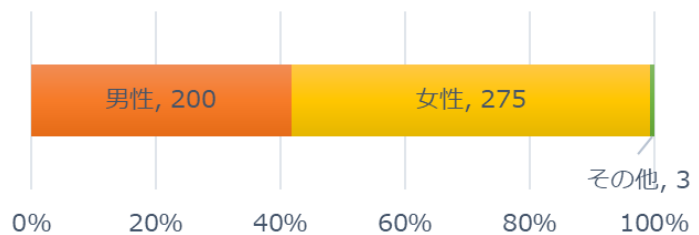
1 調査対象者

性別については女性が多い傾向。

年齢層としては 70 歳以上が最も多く、低年齢になるほど回答者が少ない。19 歳以下については回答が得られなかった。

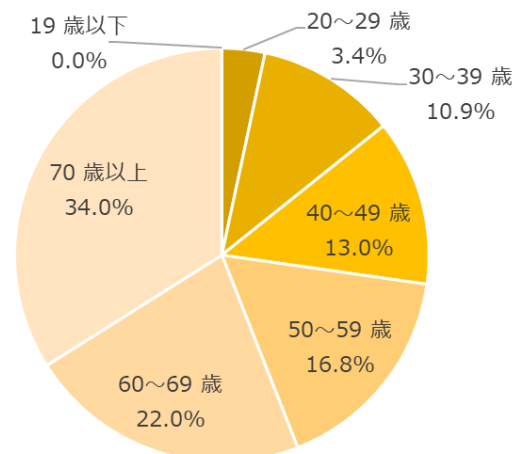
(1) 性別

N=478	人	%
男性	200	41.8
女性	275	57.5
その他	3	0.6



(2) 年齢 (R6/ 4/ 1 時点)

N=477	人	%
19 歳以下	0	0.0
20～29 歳	16	3.4
30～39 歳	52	10.9
40～49 歳	62	13.0
50～59 歳	80	16.8
60～69 歳	105	22.0
70 歳以上	162	34.0



(3) 居住地

N=475	人	%
東岐波	32	6.7
西岐波	48	10.1
常盤	21	4.4
恩田	32	6.7
岬	14	2.9
見初	9	1.9
神原	14	2.9
琴芝	31	6.5

	人	%
上宇部	33	6.9
川上	15	3.2
小羽山	18	3.8
新川	24	5.1
鵜の島	18	3.8
藤山	38	8.0
西宇部	16	3.4
厚南	43	9.1

	人	%
黒石	23	4.8
原	20	4.2
厚東	4	0.8
二俣瀬	5	1.1
小野	5	1.1
船木	8	1.7
万倉	2	0.4
吉部	2	0.4

2. 地域とのかかわり

近所との付き合いは「立ち話をする程度」も含めると、近所と何かしらの「つきあい」があると思われるものが約半数ということになる。「望ましい程度」に関しては、「助け合う」ことに肯定的な層は4割強で、それ以外は地域住民同士の関わりを肯定しつつも「助け合う」ことまですることを求めている。

地域やコミュニティでの活動については、「参加していない」とする者が過半に達している。参加しない理由については様々だが「時間がない」ことをあげる者が多い。

拠点・組織としての認識としては「ふれあいセンター」を8割近くの者があげ、次いで「社会福祉協議会」が6割ほどで、この二者が際立っており、次いで地域包括支援センターがあげられていた。

なお、いずれの項目においても、地域別および年齢層別で違いがある傾向がみられた。

(4) ご近所との付き合いの程度

N=474	人	%
何か困った時に助け合える関係	72	15.2
お互いに訪問し合える関係	28	5.9
立ち話をする程度	141	29.7
あいさつをする程度	174	36.7
ほとんど付き合いはない	31	6.5
まったく付き合いはない	28	5.9

年齢層別

N=473	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70歳 以上
何か困った時に助け合える関係	12.5	0.0	8.1	13.8	21.2	20.1
お互いに訪問し合える関係	6.3	3.8	3.2	5.0	1.9	10.1
立ち話をする程度	12.5	17.3	24.2	25.0	30.8	39.6
あいさつをする程度	37.5	53.8	40.3	38.8	40.4	26.4
ほとんど付き合いはない	12.5	15.4	9.7	10.0	1.9	3.1
まったく付き合いはない	18.8	9.6	14.5	7.5	3.8	0.6

※数字の単位は%。％は年齢層ごとの回答者数を100とした場合の回答者の割合を示す。

(5) 地域での人付き合いについての望ましい程度

N=472	人	%
住民全ての間で困ったときに助け合う	86	18.2
気の合う住民の間で困ったときに助け合う	118	25.0
助け合うことまでしなくても、住民がみんなで行事や催しに参加する	64	13.6
助け合うことまでしなくても、住民の間で世間話や立ち話をする	76	16.1
助け合うことまでしなくても、住民の間であいさつを交わす	115	24.4
地域での人付き合いは必要ない	8	1.7
その他	5	1.1

(6) 居住地域で参加している活動（複数回答）

N=478	人	%
日常生活で困ったときの助け合い	83	17.3
生きがい活動や健康に関する場づくり・仲間づくり	32	6.7
スポーツやレクリエーション活動を通じた交流	65	13.6
ひとりで暮らしている高齢者への声かけや見守り	24	5.0
まちづくりや地域の防災などに関する活動	35	7.3
地域の子どもたちへの声かけや見守り	35	7.3
地域の歴史や文化を通じた交流	11	2.3
子育てについて話したり、相談したりする交流の場づくり・仲間づくり	18	3.8
参加していない	248	51.8
その他	46	9.6

(7) 地域での活動に参加していない理由（主なもの3つ）

	人	%
活動自体が楽しくなく、興味ある内容でもないから	47	9.8
身近な地域のことは関心がないから	21	4.4
仕事や学業で忙しく、時間がないから	125	26.1
活動の内容や方法がわからないから	65	13.6
体力的に自信がないから	58	12.1
自分の時間を優先したいから	93	19.4
知り合いがいないため、一人では参加しにくいから	88	18.4
経済的な余裕がないから	17	3.5
家族の協力・理解が得られないから	3	0.6
移動の手段がないから	21	4.4
その他	21	4.4

(8) 地域福祉の拠点や組織について知っているもの（複数回答）

	人	%
宇部市社会福祉協議会	294	61.4
各地区のふれあいセンター	366	76.4
地域包括支援センター（高齢者総合相談センター）	184	38.4
生活相談サポートセンターうべ	64	13.4
福祉なんでも相談窓口	49	10.2
福祉総合相談センター	73	15.2
発達障害等相談センターそらいろ	38	7.9
ひきこもり相談支援	50	10.4
障害者生活支援センター	69	14.4
宇部市成年後見センター	34	7.1
高齢者・障害者虐待防止センター	30	6.3
うべこども家庭センターU b e ハピ	44	9.2
ファミリー・サポート・センター	64	13.4
若者サポートステーション	44	9.2
子ども・若者なんでも相談窓口（若者ふりースペース）	28	5.8
ご近所ふれあいサロン	66	13.8
子育てサークル	95	19.8
どれも知らない	44	9.2

(9)地域における支えあい」を感じているか。

N=474	人	%
感じられる	63	13.3
どちらかといえば感じられる	161	34.0
どちらかといえば感じられない	79	16.7
感じられない	78	16.5
わからない	91	19.2
その他	2	0.4

(10)「地域における支えあい」に対する考え。

N=474	人	%
地域における支え合いは必要であり、今後も充実させるべきだと思う	171	36.1
地域における支え合いは、現在の自分には必要ないが、大切なことだと思う	215	45.4
地域における支え合いにおいて、行政が対応できない課題は、ボランティア団体や市民活動団体、民間非営利組織（NPO）などに任せの方がよいと思う	32	6.8
自分で何とかなるので、地域における支え合いは必要ない	12	2.5
わからない	42	8.9
その他	2	0.4

(11)「地域における支えあい」を進めるための必要条件（複数回答）

	人	%
住民の理解と協力	324	67.6
活動の担い手	203	42.4
活動を進める組織	172	35.9
活動を進めるリーダー	178	37.2
地域内の人や団体などの連携	170	35.5
活動資金	148	30.9
活動拠点	78	16.3
わからない	44	9.2
その他	6	1.3

(12) 居住地域における課題（主なもの 3 つ）

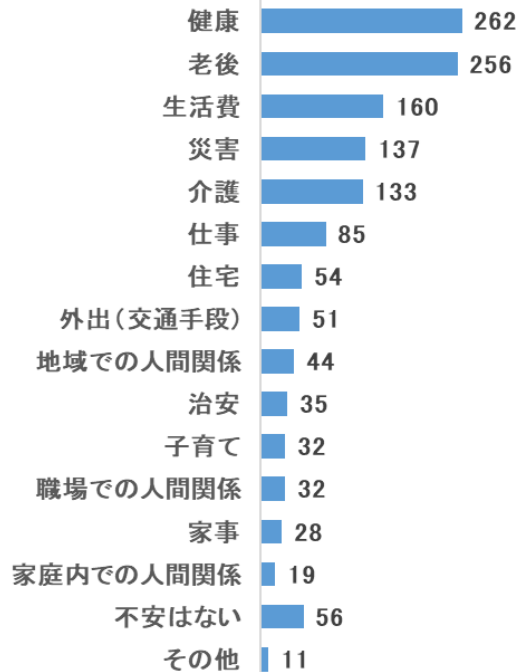
	人	%
高齢化・少子化・人口減少が進んでいる	305	63.7
見守りや安否確認が必要な高齢者世帯などの増加	167	34.9
商業施設、娯楽施設が少ない	148	30.9
ご近所との交流が少ない	105	21.9
自治会役員等の人材が不足している	131	27.3
世代間の交流が少ない	103	21.5
地域文化の継承や自治会・地域行事の継続が難しい	86	18.0
通院や買い物に困っている人が多い	58	12.1
バス停や駅が近くになく移動に不便	89	18.6
ペット（犬・猫等）の飼い主のマナーが悪い	72	15.0
公園や子どもの遊び場が少ない	69	14.4
交通マナーが悪い（駐車違反、速度超過など）	69	14.4
空き地、空き家及び危険な場所がある	75	15.7
生きがいづくりの場が少ない	60	12.5
ゴミ出しマナーが悪い	46	9.6
災害時や緊急時に対する備えが遅れている	59	12.3
道ばたのゴミが増えた、不法投棄が目につく	36	7.5
あいさつをしない人が多い	53	11.1
バリアフリー化が遅れている	41	8.6
地域の子育て力が低下している	34	7.1
救急や医療の体制が十分でない	22	4.6
道路整備が遅れている	58	12.1
地域活動の拠点（集える場所）が少ない	25	5.2
学校と地域のつながりが弱い	27	5.6
騒音・悪臭などの問題が発生している	13	2.7
成年後見制度をはじめとした権利擁護支援に関する取り組みが遅れている	17	3.5
治安が悪い（犯罪が増えている）	5	1.0
地域に課題はない	15	3.1
わからない	31	6.5
その他	14	2.9

3. 日常生活の悩み・課題

日常生活の不安としては、「老後」「健康」といった項目をあげる者が過半数を占めた。また、相談先としては、「家族・親戚」「友人・知人」といった親しい者をあげたものが多く、次いで「病院」をあげる者が多かった。

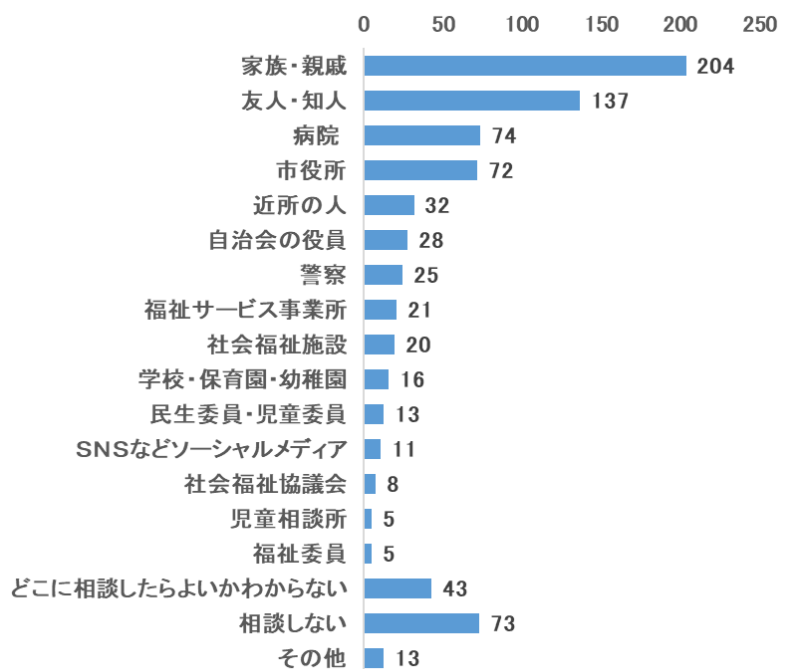
(13) 日常生活で、どのようなことに悩みや不安がありますか（複数回答）。

	人	%
健康	262	54.7
老後	256	53.4
生活費	160	33.4
介護	133	27.8
災害	137	28.6
仕事	85	17.7
住宅	54	11.3
地域での人間関係	44	9.2
家庭内での人間関係	19	4.0
職場での人間関係	32	6.7
外出（交通手段）	51	10.6
治安	35	7.3
子育て	32	6.7
家事	28	5.8
不安はない	56	11.7
その他	11	2.3



(14) 悩みや不安がある場合、実際に相談したことがある人（窓口）は誰（どこ）ですか。該当するものすべてに○をつけてください。

	人	%
市役所	72	15.0
警察	25	5.2
病院	74	15.4
児童相談所	5	1.0
学校・保育園・幼稚園	16	3.3
社会福祉施設	20	4.2
社会福祉協議会	8	1.7
民生委員・児童委員	13	2.7
福祉委員	5	1.0
自治会の役員	28	5.8
友人・知人	137	28.6
家族・親戚	204	42.7
近所の人	32	6.7
福祉サービス事業所	21	4.4
SNSなどソーシャルメディア	11	2.3
どこに相談したらよいかわからない	43	9.0
相談しない	73	15.2
その他	13	2.7



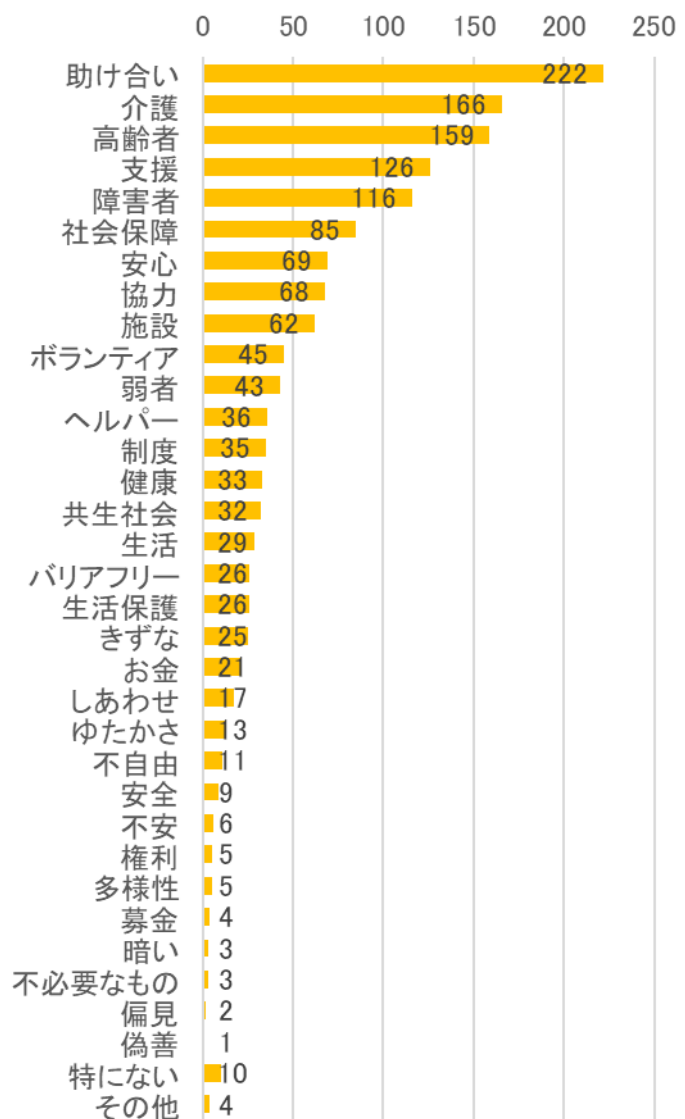
4. 地域福祉の考え方について

「福祉」ということでは、「助け合い」という言葉を想起する者が最も多かったが、続くものとして「介護」「高齢者」「支援」があがっており、社会的弱者に対する支援である認識が中心である様子がうかがえる。

日常生活上での援助・支援ということでは、直接での支援より情報提供による自己解決の促進を望む意見が多い。また、「手助け」に関しては、「できる」数に比して「している」数はかなり少なく、一方、「手助けしてほしい」はそれほど多くないものの「災害」での多さが目立った。

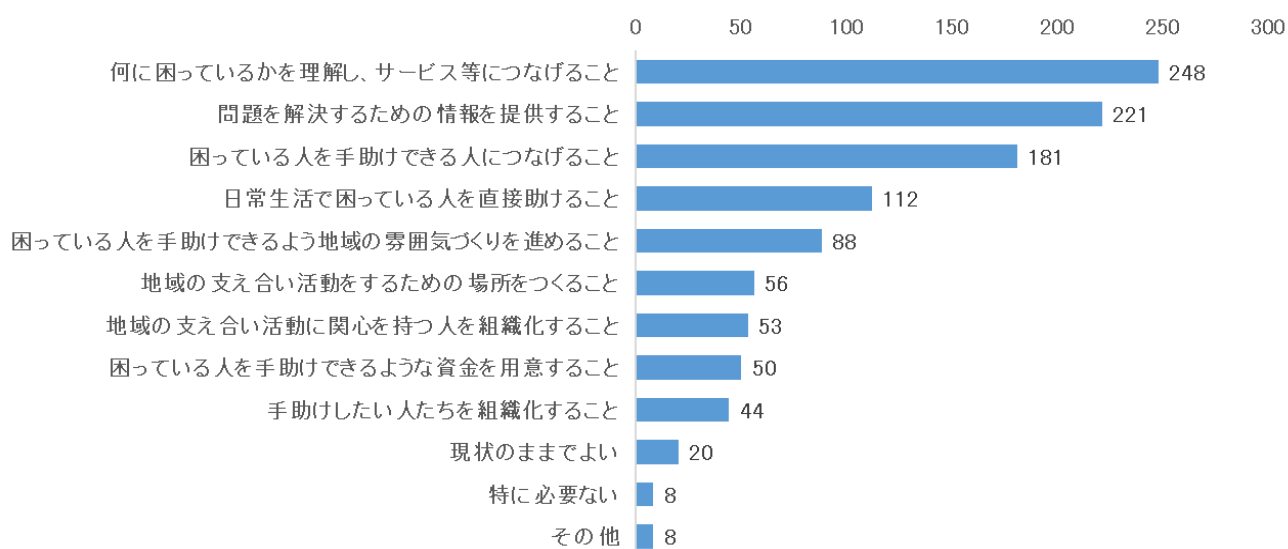
(15) 「福祉」という言葉からどのようなことを思い浮かべますか。主なものを 3 つ選んで○をつけてください。

	人	%
助け合い	222	46.3
しあわせ	17	3.5
ゆたかさ	13	2.7
きずな	25	5.2
安心	69	14.4
協力	68	14.2
不自由	11	2.3
暗い	3	0.6
不安	6	1.3
高齢者	159	33.2
障害者	116	24.2
弱者	43	9.0
介護	166	34.7
ヘルパー	36	7.5
ボランティア	45	9.4
バリアフリー	26	5.4
健康	33	6.9
生活	29	6.1
施設	62	12.9
制度	35	7.3
権利	5	1.0
募金	4	0.8
不必要なもの	3	0.6
お金	21	4.4
偏見	2	0.4
生活保護	26	5.4
安全	9	1.9
支援	126	26.3
社会保障	85	17.7
偽善	1	0.2
共生社会	32	6.7
多様性	5	1.0
特にない	10	2.1
その他	4	0.8



(16) 日常生活で困っている人がいた場合、どのような援助が必要だと思うか（主なもの3つ）。

	人	%
日常生活で困っている人を直接助けること	112	23.4
問題を解決するための情報を提供すること	221	46.1
何に困っているかを理解し、サービス等につなげること	248	51.8
困っている人を手助けできる人につなげること	181	37.8
困っている人を手助けできるよう地域の雰囲気づくりを進めること	88	18.4
困っている人を手助けできるような資金を用意すること	50	10.4
手助けしたい人たちを組織化すること	44	9.2
地域の支え合い活動をするための場所をつくること	56	11.7
地域の支え合い活動に関心を持つ人を組織化すること	53	11.1
現状のままでよい	20	4.2
特に必要ない	8	1.7
その他	8	1.7



宇部市地域福祉意識調査

(17) 地域で困っている世帯に、現在「手助けしていること」や「今後手助けできること」は。

また、現在もしくは将来的にあなた自身が地域の人に「手助けしてほしいこと」は。(複数回答)

	手助けしていること		今後、手助けできること		手助けしてほしいこと	
	人	%	人	%	人	%
N=478						
安否確認の声掛け	39	8.1	172	35.9	83	17.4
話し相手	42	8.8	119	24.8	42	8.8
悩みごと、心配ごとの相談	14	2.9	77	16.1	52	10.9
日用品などのちょっとした買い物	8	1.7	85	17.8	31	6.5
電球交換などのちょっとした作業	8	1.7	83	17.3	39	8.1
ゴミ出し	10	2.1	95	19.8	31	6.5
家の中の掃除や洗濯	4	0.8	32	6.7	17	3.5
庭の手入れ	11	2.3	43	9.0	41	8.6
食事づくり	2	0.4	25	5.2	18	3.8
短時間の子どもの預かり	2	0.4	30	6.3	18	3.8
保育園・幼稚園の送迎	0	0.0	16	3.3	8	1.7
散歩の付添	1	0.2	32	6.7	2	0.4
病院の付添	4	0.8	31	6.5	23	4.8
買物・通院などの送迎	9	1.9	39	8.1	45	9.4
病気のときの看病	2	0.4	12	2.5	19	4.0
経済的な支援	1	0.2	8	1.7	27	5.6
災害時・緊急時の手助け	8	1.7	109	22.8	103	21.5
防犯見回り・防災訓練などへの参加	15	3.1	53	11.1	26	5.4
相続問題	0	0.0	1	0.2	20	4.2
空家の処分	3	0.6	6	1.3	25	5.2
その他	9	1.9	2	0.4	2	0.4

5. 地域福祉の推進について

宇部市の地域福祉の現状については、一部を除き、評価が高いほうとはいえない。しかし、5年前との比較による変化については、「悪くなった」とする者は少ない。今後の福祉関連施策に望むものとしては、高齢者やおひとりさま向けの福祉と医療体制の整備が多い。だが、相談体制の整備ということのほか、子育て支援策のニーズの多さも目立つ。

(18) 宇部市の地域福祉の現状についてどう思うか。各項目ごとに1つ選択。

(%)

	(%)				N
	できている	ある程度できている	あまりできていない	できていない	
地域で、世代等を超えた交流が盛んに行われている	2.8	33.2	39.2	24.8	395
誰もが地域でいきいきと暮らし、困った時には情報を得たり、相談することができる	1.5	32.3	46.1	20.1	393
一人ひとりが地域福祉に関心を持ち、支え合いの行動をしている	0.5	13.0	56.2	30.3	386
NPOやボランティア等が地域福祉活動を進めるための情報・拠点等の基盤が整っている	1.1	23.7	47.9	27.4	380
地域福祉活動を進めるための人材・資源・資金等の制度が充実している	0.8	18.4	50.5	30.3	376
地域福祉の多様なニーズ、新しいニーズとしてどのようなものがあるかが的確に把握され、その対応を進めている	0.5	21.9	48.3	29.3	379
誰もが、自分が受けられる支援に関する情報を得たり、適切に選択することができ、支援制度・サービスが手薄な分野について、対象者を支える仕組みが充実している	0.8	24.4	52.5	22.3	381
最新の知識・技術を身につけた人材と、経験豊かな人材が協力し、福祉サービスの質が向上している	1.3	25.1	50.1	23.5	375
利用者が福祉サービスを選択するために必要な情報が公開されており、事業者は提供する福祉サービスの質の向上に取り組んでいる	2.6	36.8	39.2	21.4	378
子育て中や日中は勤務している等の人材も、地域に貢献する活動に参加できる仕組みがある	0.8	25.1	47.4	26.7	367
地域で必要とされる人材が、必要な場所で活躍している	1.1	33.6	45.3	20.0	375
起業等の意欲を持つ人に適切な支援が行われている	1.4	27.1	46.1	25.4	362
住民による地域防犯・交通安全への自主的な活動が行われている	8.1	40.1	35.3	16.5	382
地域ぐるみで、身近な環境（保全・美化）が快適に保たれている	9.5	51.4	28.3	10.8	389

(19) 自身の住む地域の環境に関する、5年前と比べての変化。

	%					N
	かなり よく なった	多少 はよく なった	あまり 変わら ない	悪く なった	わから ない	
高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせる	3.0	16.8	51.0	4.3	25.0	400
障害者が社会に参加し、安心して暮らせる	1.8	16.7	46.6	2.3	32.7	395
ゆとりを持って安心して子育てができる	4.4	18.6	42.9	4.1	30.0	387
子どもが健やかに育つ環境がある	6.4	22.3	42.7	4.9	23.8	391
必要なときに安心して医療を受けることができる	10.7	28.2	43.1	4.2	13.7	401
健康づくりに取り組みやすい環境にある	6.2	24.2	46.8	2.8	20.1	389
誰もが生涯学習や好きな活動ができる	4.1	19.0	48.5	3.1	25.4	390
住民どうしの温かいふれあいがある	3.3	11.2	59.1	7.1	19.3	394
世代が違う人どうしの交流がある	2.5	7.6	52.5	12.2	25.1	394
困ったときにすぐに相談できる	4.1	12.8	53.1	5.9	24.2	392
困ったことがあっても、誰かが支えてくれる	3.4	8.8	54.4	6.7	26.8	388
住まいや地域の生活環境が良い	6.3	19.8	56.9	6.3	10.8	399
道路や交通の便がよく、誰もが外出しやすい	4.3	16.1	55.3	15.1	9.3	398
生活のいろいろな面で便利である	5.0	18.8	56.5	10.3	9.3	398
いろいろな活動ができる場が身近にある	3.6	11.5	55.9	6.1	23.0	392
すべての人の人権が守られている	5.8	11.4	54.3	5.3	23.1	394
災害などに対して安心である	6.5	14.8	55.3	5.8	17.8	400

宇部市地域福祉意識調査

(20) 宇部市が、福祉関連の分野で、特に力を入れて取り組むべきだと思われる施策を5つまで選択。

N=478	人	%
福祉に関する各種相談窓口等の整備	129	27.0
地域資源の活用（人的資源・公共施設・民間施設の活用）	67	14.0
ボランティア意識の醸成（学校教育や生涯教育での啓発・動機付け）	35	7.3
社会福祉協議会・ボランティア団体や障害当事者団体、N P O等への支援体制の拡充（設立支援・運営の充実）	27	5.6
地域交流活動の促進（地域情報の発信、世代間交流の活発化、地域交流イベントの支援）	53	11.1
生きがいの創造（生涯学習の推進、サークル活動の支援、就業の支援）	70	14.6
健康の保持・増進を図る健康づくり	78	16.3
道路や交通環境・建物等のバリアフリー化、ユニバーサル化の推進	97	20.3
高齢者のみの世帯や障害者に対する災害時の支援体制	105	22.0
高齢者が安心して暮らせる在宅福祉施策	123	25.7
高齢者の就労支援	51	10.7
障害者が安心して暮らせる在宅福祉施策	48	10.1
障害者の就労支援	38	8.0
子育てが安心してできる子育て支援施策	112	23.4
育児と介護のダブルケア問題への解決支援	68	14.2
急病でも対応できるなど医療体制の整備	135	28.2
生活困窮者への経済的支援施策	46	9.6
就職氷河期世代への就職支援	20	4.2
ひきこもり問題（8050 問題含む）への解決支援	24	5.0
ひとりでも安心して暮らせる制度の充実（入院時の保証人、財産管理や死後事務等）	145	30.4
国民健康保険・介護保険など保険事業の安定的運営	89	18.6
人権の擁護（プライバシーの確保、問題の早期発見体制の確立）	23	4.8
福祉に関する広報活動	34	7.1
格差社会に対する支援施策	33	6.9
特にない・わからない	46	9.6
その他	8	1.7

6. 宇部市社会福祉協議会について

情報提供と相談支援、それに人材育成といったことの回答の多さが目立ち、宇部市社会福祉協議会には、福祉分野における総合的な中間支援の機能を期待されている様子が見える。また、行政との橋渡しやその補完をする機能への期待も見られる。

(21) 宇部市社会福祉協議会の役割として期待するもの（主なもの 5 つ選択）。

	人	%
福祉に関する情報提供	252	52.7
福祉活動の担い手・人材の育成	175	36.6
福祉施設・福祉サービス事業者等のネットワーク（連携）づくり	95	19.9
地域で活動する人や団体などのネットワーク（連携）づくり	71	14.9
総合的な相談支援	176	36.8
公的サービスでは対応できない課題への対応	123	25.7
行政への働きかけ	112	23.4
ボランティア活動に関する支援	50	10.5
災害ボランティア活動に関する支援	46	9.6
寄附金等の有効活用	52	10.9
地域で活動する団体等への活動支援	53	11.1
ボランティア団体・障害当事者団体・障害支援者団体の活動支援	48	10.0
新たな地域課題に対する先駆的な取り組み	56	11.7
福祉課題（福祉ニーズ）の明確化	72	15.1
市民の福祉意識の醸成	40	8.4
社会福祉法人等の地域公益活動に関する支援	24	5.0
企業の社会貢献活動に関する支援	21	4.4
特になし	50	10.5
その他	10	2.1

7. 自由記述

- 1) ひとりでも安心して暮らせる制度の充実は、特に重要だと思います。最後一人になった人が安心して暮らせる世の中であって欲しいと切実に思う。
- 2) 70年代の方々へ地域活動など呼びかけを活発にした方がいいと思う。まだまだ自宅に何もせずにこもっている方がいるので出来ればその方にあった活動が出来るよう種類を作って動いてもらえば生きがいも喜びも生まれて来ると思う。
- 3) 宇部市の福祉がどこで何をしてもらえるのか全くわからない。いざ福祉を必要とした時にどこに話をしたらいいのかわからない。総合的な窓口があればいいと思う。
- 4) 宇部市は子育てに力を入れ、未来に向けてのサポートが充実していると思う。その支援は今後の続けていただきたいですが、現状での高齢者や、また働く世代のサポートにつながる何かがあるといいと思う。障害児や障害者の方へのサポートも、割と充実しているイメージがありますが、きっとまだまだ困っている方はいる。本当に助けが必要な人達にサポートできるような、働き世代の確保が今後もっと必要となっていくと思うので今から子どもたちに、福祉の活動の大切さを伝えてもらえたらと思う。
- 5) 子どもたちが安心・安全に生活できる町であると嬉しい。
- 6) 個人が助け合うのは大事なことだと思います。ハザードマップのような福祉のわかりやすいマップを家庭に配布して困った時にどこに相談するか、いつもすぐに分かるようにできたらいいと思う。
- 7) 後期高齢者で身体疾病にて、下記診療所に週3回通院しています。訪問がむづかしく家に閉じこもることが多い毎日です。近くにご近所サロンがあれば嬉しい。
- 8) 高齢者が安心して生命を終えられるよう、今以上に安心して暮らせる宇部市であるよう祈っている。
- 9) 高齢者が増加して支援者の人材不足が心配です。若い人は年々減少している。福祉に関心を持ちお互い協力できたらと思う。
- 10) まずは自分にできる小さな助け合い、声かけ合いからはじめようと思っています。できることなら困った人にどこの窓口で相談に行ったらと教えてあげるくらいの知識を身につけたいと思う。
- 11) 地域での困り事を各専門（プロ）の事業へつなげ、その費用を福祉(税金)で補うことができればいいと思う。